

I 男女の地位の平等

1 男女平等についての現在の状況

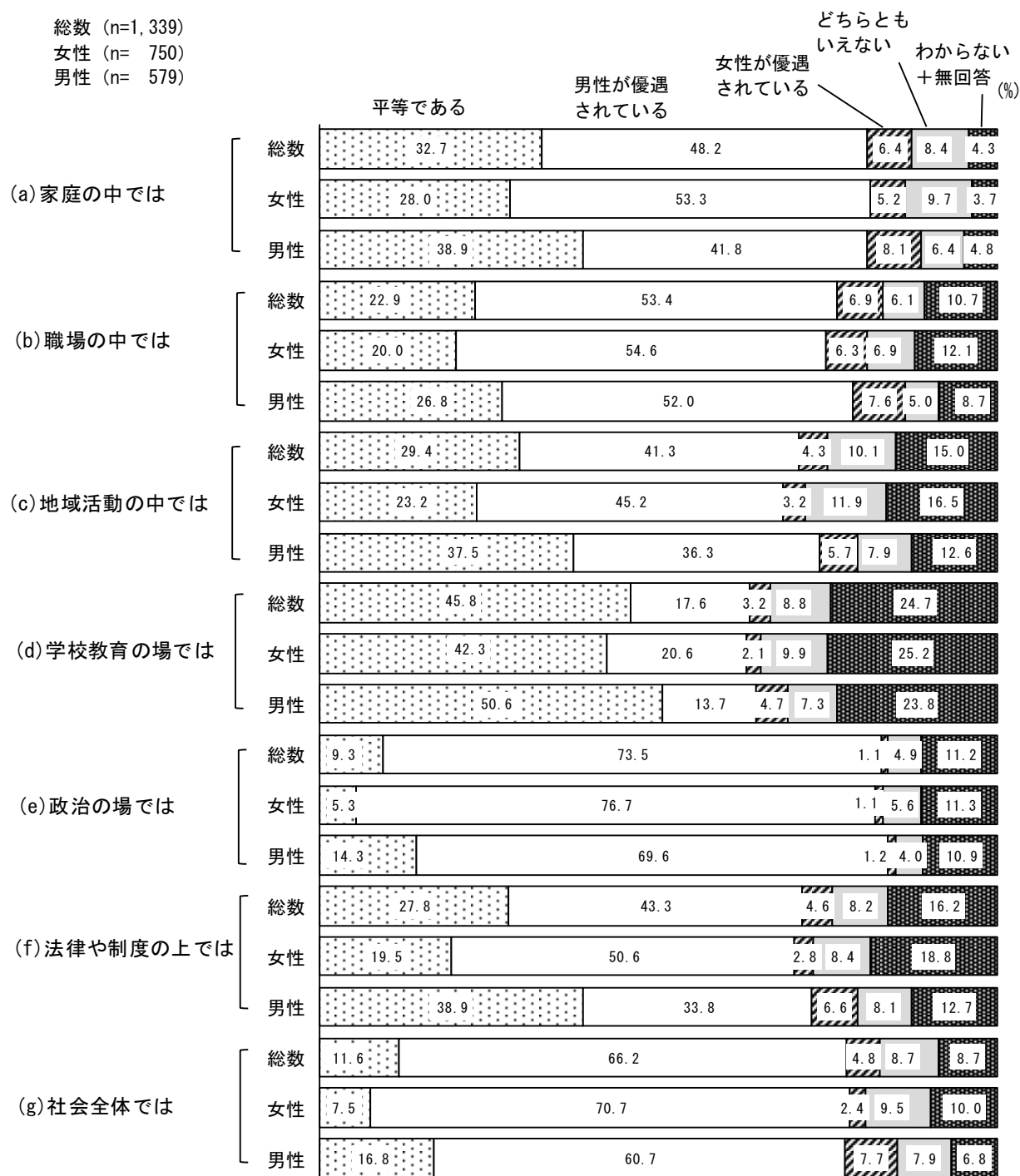
問1 現在の日本の社会において、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(a)～(g)の各分野について、あなたの考えに近いものの番号に1つ○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

全体では「平等である」が、“(d)学校教育の場では”(45.8%)、“(a)家庭の中では”(32.7%)、“(c)地域活動の中では”(29.4%)、“(f)法律や制度の上では”(27.8%)の順に多くなっている。「平等である」が最も少ないのは“(e)政治の場では”(9.3%)である。

女性では、“(g)社会全体では”(7.5%)、“(e)政治の場では”(5.3%)で、「平等である」が1割未満になっており、また、すべての項目で男性よりも「平等である」が少なくなっている。

男性では、“(g)社会全体では”(16.8%)、“(e)政治の場では”(14.3%)では1割台となっているが、すべての項目で女性よりも、「平等である」が多くなっている。特に差が大きいのは“(f)法律や制度の上では”(38.9%)で、男性が女性を19.4ポイント上回っている。

図1-1 男女平等についての現在の状況 項目別一覧（性別）



※『男性が優遇されている』は、調査票選択肢の「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合計したもの。

『女性が優遇されている』は、調査票選択肢の「女性が優遇されている」と「どちらかといえば女性が優遇されている」を合計したもの。以降の頁も同様。

男女平等についての現在の状況

(a) 家庭の中では

【年代別】

女性では、「平等である」が30代（41.3%）で最も多くなったが、60代は20.7%、70歳以上では20.8%にとどまり、年代が高くなるにつれ少なくなる傾向がある。また『男性が優遇されている』は18～29歳（35.6%）で最も少なく、60代（62.9%）で最も多くなった。

男性では、「平等である」が18～29歳（61.2%）で最も多くなった。『男性が優遇されている』は60代（51.9%）、70歳以上（54.8%）で半数を超えている。

【地域別】

女性では、「平等である」が南加賀（30.3%）で最も多く、能登北部（19.5%）で最も少ない。『男性が優遇されている』は、能登北部（61.0%）、石川中央（54.3%）、南加賀（51.4%）で、半数を超えている。

男性では、「平等である」が、南加賀（41.2%）で最も多く、『男性が優遇されている』も南加賀（39.5%）で最も少なくなっている。反対に、『男性が優遇されている』が最も多いのは能登北部（67.6%）となっている。

【未既婚別】

女性では、「平等である」が未婚（33.6%）で最も多く、『男性が優遇されている』は有配偶者（58.0%）で最も多い。

男性では、「平等である」が未婚（48.4%）で最も多く、『男性が優遇されている』は離死別（57.7%）で最も多くなっている。

【職業別】

「平等である」は、女性では勤め人（30.3%）、男性では自営業等（44.2%）で最も多い。

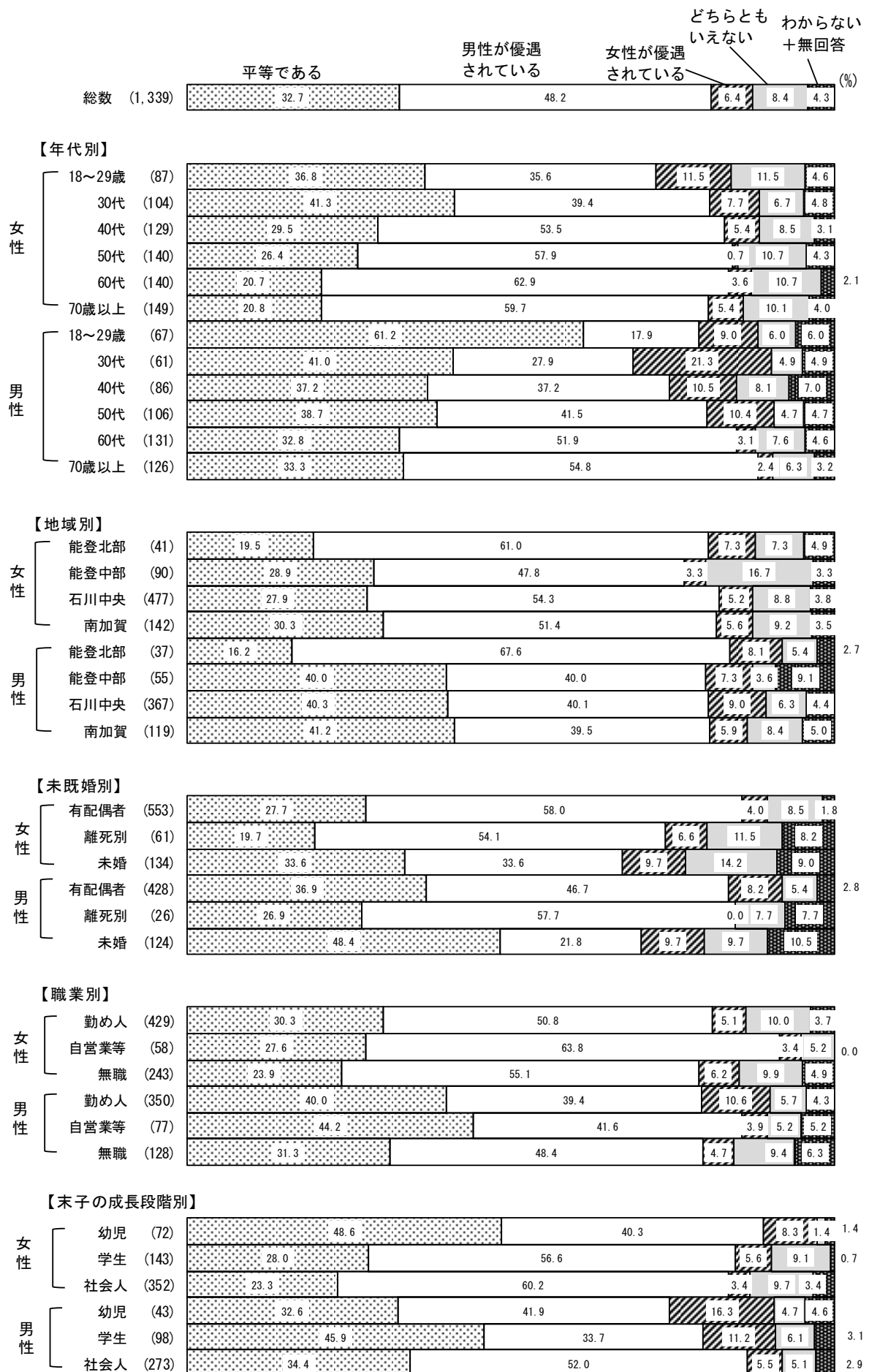
また『男性が優遇されている』は、女性では自営業等（63.8%）、男性では無職（48.4%）で最も多い。

【末子の成長段階別】

女性では、「平等である」が幼児がいる人（48.6%）で4割を超えた。『男性が優遇されている』は社会人の子がいる人（60.2%）で最も多くなっている。

男性では、「平等である」は学生の子がいる人（45.9%）で4割を超えた。『男性が優遇されている』は社会人の子がいる人（52.0%）で半数を超えている。

図1-2 男女平等についての現在の状況 (a) 家庭の中では
(年代別、地域別、未既婚別、職業別、末子の成長段階別)



男女平等についての現在の状況

(b) 職場の中では

【年代別】

女性では、「平等である」が30代（29.8%）で最も多く、70歳以上では8.7%と最も少ない。『男性が優遇されている』は、50代と60代（ともに59.3%）で最も多くなっている。

男性では、「平等である」が18～29歳と30代（ともに32.8%）で最も多く、『男性が優遇されている』は60代（60.3%）で最も多くなっている。

【地域別】

女性では、「平等である」が、能登中部（21.1%）で最も多く、能登北部（14.6%）で最も少ない。『男性が優遇されている』は、能登北部（65.9%）、南加賀（55.6%）、石川中央（54.1%）、能登中部（51.1%）すべての地域において半数を超えている。

男性では、「平等である」が、能登中部（29.1%）で最も多く、『男性が優遇されている』は能登北部（64.9%）、南加賀（54.6%）、石川中央（52.3%）で半数を超えている。

【未既婚別】

女性では、「平等である」が未婚（23.1%）で最も多く、『男性が優遇されている』は離死別（62.3%）、有配偶者（56.1%）で半数を超えている。

男性では、「平等である」が未婚（29.0%）で最も多く、『男性が優遇されている』は有配偶者（54.0%）、離死別（53.8%）で半数を超えている。

【職業別】

女性では、「平等である」が勤め人（27.5%）で最も多く、『男性が優遇されている』は無職（58.0%）が最も多くなった。

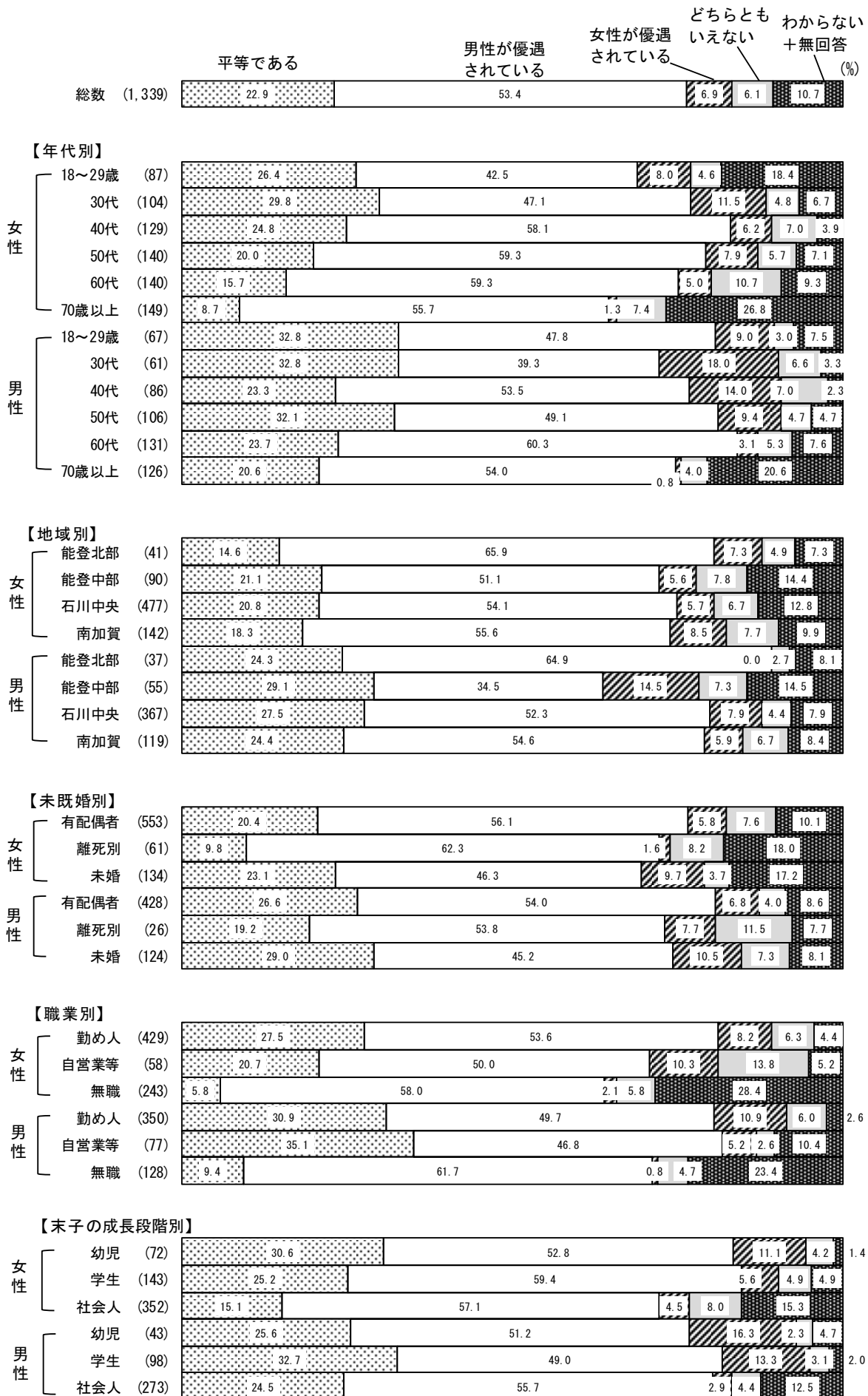
男性では、「平等である」が最も多いのは自営業等（35.1%）で、『男性が優遇されている』が最も多いのは、無職（61.7%）となっている。

【末子の成長段階別】

女性では、「平等である」が幼児がいる人（30.6%）で最も多く、『男性が優遇されている』は学生の子がいる人（59.4%）で最も多くなった。

男性でも、「平等である」は学生の子がいる人（32.7%）で最も多く、『男性が優遇されている』は社会人の子がいる人（55.7%）で最も多くなった。

図1-3 男女平等についての現在の状況 (b) 職場の中では
(年代別、地域別、未既婚別、職業別、末子の成長段階別)



男女平等についての現在の状況

(c) 地域活動の中では

【年代別】

女性では、「平等である」が30代（31.7%）で最も多く、60代（17.9%）が最も少なく、年代が高くなるにつれて減少する傾向にある。『男性が優遇されている』は60代（52.9%）で最も多く半数を超えている。

男性では、「平等である」が18～29歳（59.7%）で半数を超えている。『男性が優遇されている』は70歳以上（46.8%）、60代（46.6%）で約半数となっている。

【地域別】

女性では、「平等である」は能登北部（29.3%）で最も多く、『男性が優遇されている』は、南加賀（50.0%）が最も多く、半数となっている。

男性では、「平等である」が、石川中央（42.5%）が最も多く、『男性が優遇されている』は能登北部（56.8%）が最も多くなっている。

【未既婚別】

女性では、「平等である」が有配偶者（24.2%）で最も多く、『男性が優遇されている』は離死別（52.5%）が最も多くなった。

男性では、「平等である」が未婚（44.4%）で最も多く、『男性が優遇されている』は有配偶者（41.1%）が最も多くなった。

【職業別】

女性では、「平等である」が自営業等（31.0%）で最も多く、『男性が優遇されている』は勤め人（46.2%）が最も多くなった。

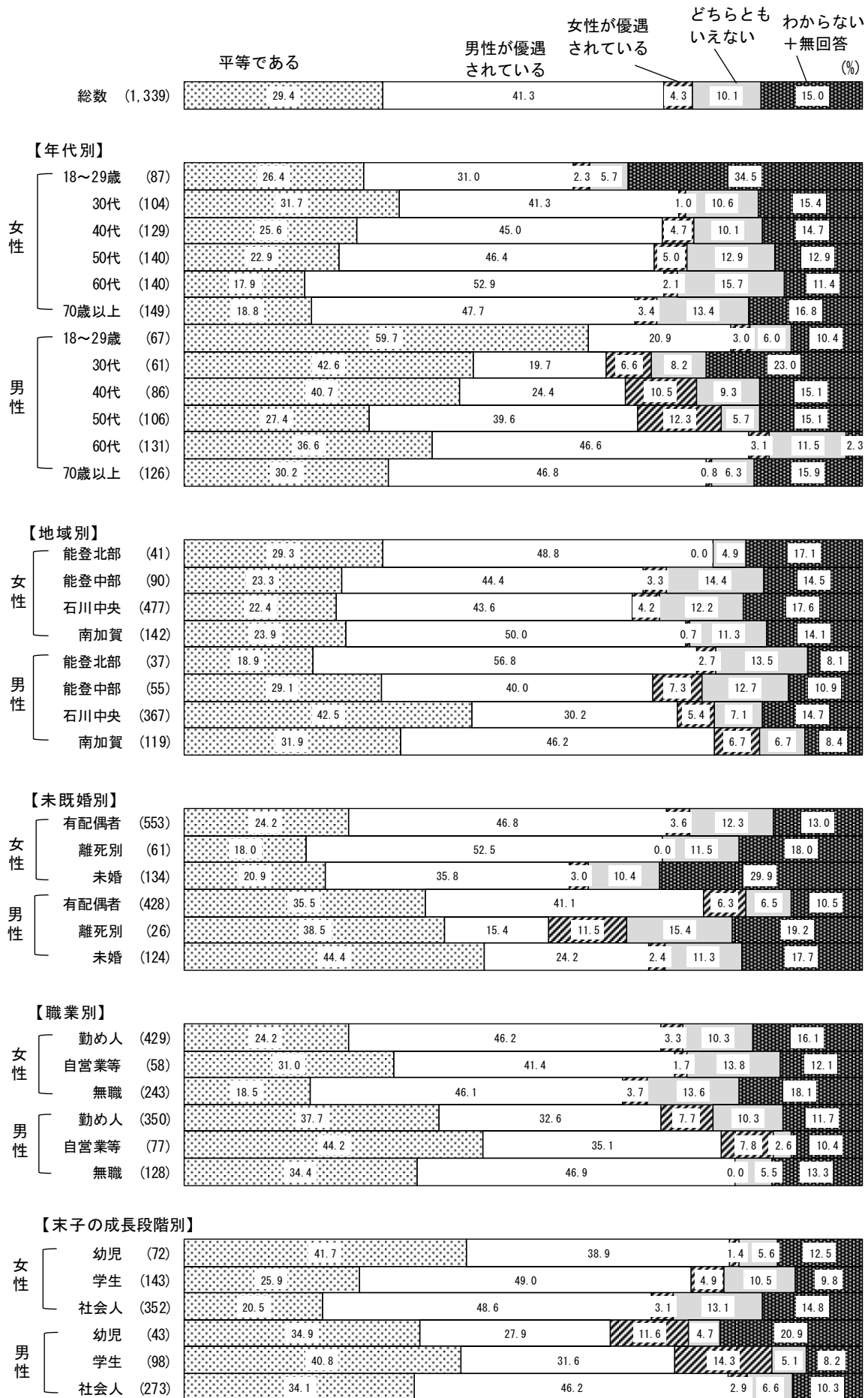
男性では、「平等である」が自営業等（44.2%）で最も多く、『男性が優遇されている』は無職（46.9%）が最も多くなった。

【末子の成長段階別】

女性では、「平等である」が幼児がいる人（41.7%）で最も多く、『男性が優遇されている』は学生の子がいる人（49.0%）で最も多くなっている。

男性では、「平等である」は学生の子がいる人（40.8%）で最も多く、『男性が優遇されている』は社会人の子がいる人（46.2%）で最も多くなっている。

図1-4 男女平等についての現在の状況 (c) 地域活動の中では
(年代別、地域別、未既婚別、職業別、末子の成長段階別)



男女平等についての現在の状況

(d) 学校教育の場では

【年代別】

女性では、「平等である」が18～29歳（50.6%）で最も多く、70歳以上（26.2%）で最も少なくなっている。『男性が優遇されている』は70歳以上（24.8%）で最も多い。

男性では、「平等である」が18～29歳（62.7%）で6割を超え最も多い。『男性が優遇されている』は、70歳以上（19.8%）で最も多くなっている。

【地域別】

女性では、「平等である」は南加賀（46.5%）で最も多く、能登北部（36.6%）で最も少ない。『男性が優遇されている』は、能登北部（36.6%）で最も多くなっている。

男性では、「平等である」が、能登北部（59.5%）で最も多く、能登中部（36.4%）で最も少ない。『男性が優遇されている』は能登北部（10.8%）が最も少なくなっている。

【未既婚別】

女性では、「平等である」は有配偶者（43.6%）で最も多くなっており、『男性が優遇されている』は離死別（26.2%）で最も多くなっている。

男性でも、「平等である」は有配偶者（52.1%）で最も多く半数を超えている。『男性が優遇されている』も有配偶者（14.7%）で最も多くなっている。

【職業別】

女性では、「平等である」が自営業等（43.1%）で最も多く、『男性が優遇されている』は勤め人（21.9%）で最も多くなった。

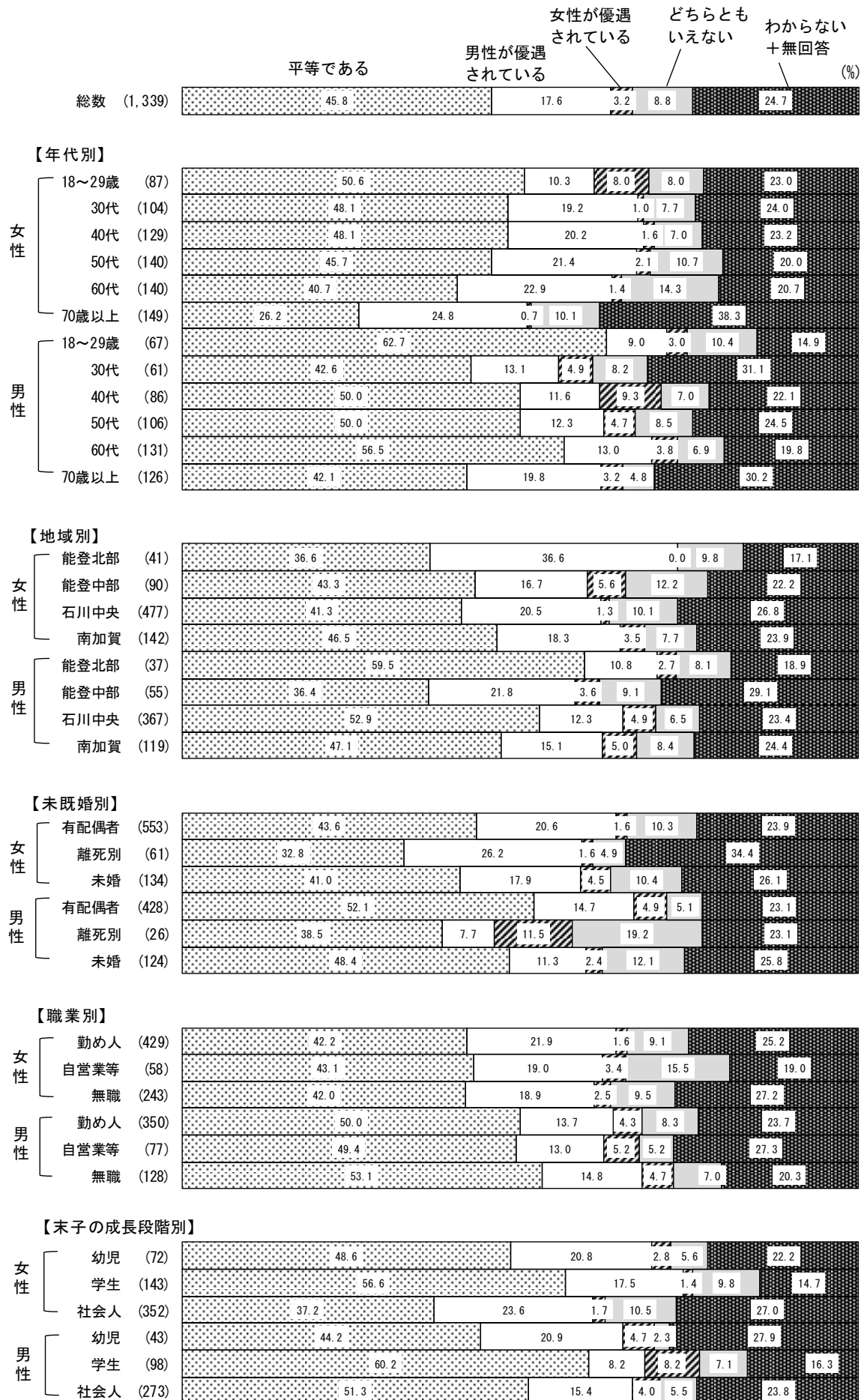
男性では、「平等である」は無職（53.1%）で半数を超え、最も多い。『男性が優遇されている』も、無職（14.8%）で最も多くなった。

【末子の成長段階別】

女性では、「平等である」は学生の子がいる人（56.6%）で最も多い。『男性が優遇されている』は、社会人の子がいる人（23.6%）で最も多くなった。

男性では、「平等である」は学生の子がいる人（60.2%）で最も多くなった。『男性が優遇されている』は、幼児がいる人（20.9%）で最も多くなった。

図1-5 男女平等についての現在の状況 (d) 学校教育の場では
(年代別、地域別、未既婚別、職業別、末子の成長段階別)



男女平等についての現在の状況

(e) 政治の場では

【年代別】

女性では、「平等である」がいずれの年代でも1割以下となっている。『男性が優遇されている』は50代（81.4%）で8割を超えている。

男性では、「平等である」が70歳以上（7.1%）で最も少なく、18～29歳（20.9%）で最も多くなった。『男性が優遇されている』は30代（60.7%）で最も少ない。

【地域別】

女性では、「平等である」が能登中部（7.8%）で最も多く、『男性が優遇されている』が能登北部（85.4%）で8割を超え、他の全ての地域においても7割を超えている。

男性では、「平等である」が、能登中部（20.0%）で最も多く、『男性が優遇されている』は能登中部（60.0%）で最も少ない。能登北部（81.1%）では最も多く、8割を超えている。

【未既婚別】

女性では、「平等である」はいずれの層でも1割未満となっている。『男性が優遇されている』は有配偶者（77.2%）で最も多く、他の層もすべて7割を超えている。

男性では、「平等である」は離死別（19.2%）で最も多く、『男性が優遇されている』は、有配偶者（73.1%）で最も多くなっている。

【職業別】

女性では、「平等である」はいずれの層でも1割未満となっている。『男性が優遇されている』は勤め人（79.3%）で最も多く、他の層でもすべて7割を超えている。

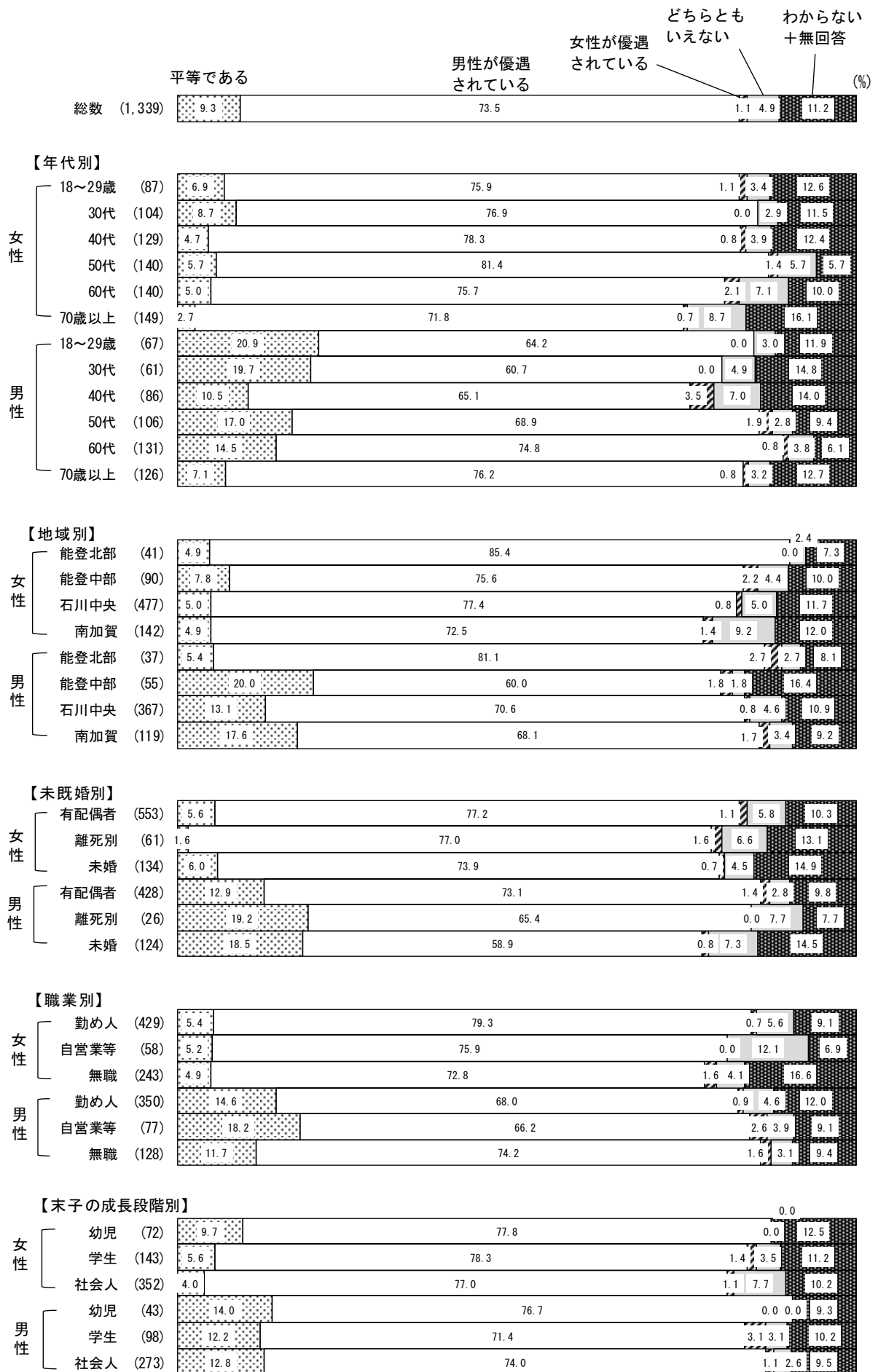
男性では、「平等である」は自営業等（18.2%）で最も多く、『男性が優遇されている』は無職（74.2%）で最も多くなった。

【末子の成長段階別】

女性では、「平等である」はいずれの層でも1割未満となっている。『男性が優遇されている』は学生の子がいる人（78.3%）で最も多く、他の層でも7割を超えている。

男性では、「平等である」は幼児がいる人（14.0%）で最も多く、『男性が優遇されている』も幼児がいる人（76.7%）で最も多く、他の層でも7割を超えている。

図1-6 男女平等についての現在の状況 (e) 政治の場では
(年代別、地域別、未既婚別、職業別、末子の成長段階別)



男女平等についての現在の状況

(f) 法律や制度の上では

【年代別】

女性では、「平等である」が30代（26.9%）で最も多く、40代（15.5%）で最も少ない。『男性が優遇されている』は50代、60代（ともに55.7%）で最も多く、18～29歳（39.1%）で最も少なくなった。

男性では、「平等である」が18～29歳（46.3%）で最も多くなった。『男性が優遇されている』は70歳以上（38.9%）で最も多く、18～29歳（20.9%）で最も少ない。

【地域別】

女性では、「平等である」は能登北部（24.4%）で最も多く、『男性が優遇されている』が石川中央（54.1%）で最も多い。

男性では、「平等である」が、石川中央（39.8%）で最も多く、能登中部（32.7%）で最も少ない。『男性が優遇されている』は能登中部（36.4%）で最も多くなった。

【未既婚別】

女性では、「平等である」は未婚（20.9%）で最も多い。『男性が優遇されている』は離別（52.5%）と有配偶者（52.1%）が多く、半数を超えている。

男性では、「平等である」は有配偶者（40.7%）で最も多い。『男性が優遇されている』も有配偶者（36.7%）で最も多い。

【職業別】

女性では、「平等である」は勤め人（20.3%）で最も多い。『男性が優遇されている』は自営業等（55.2%）で最も多くなった。

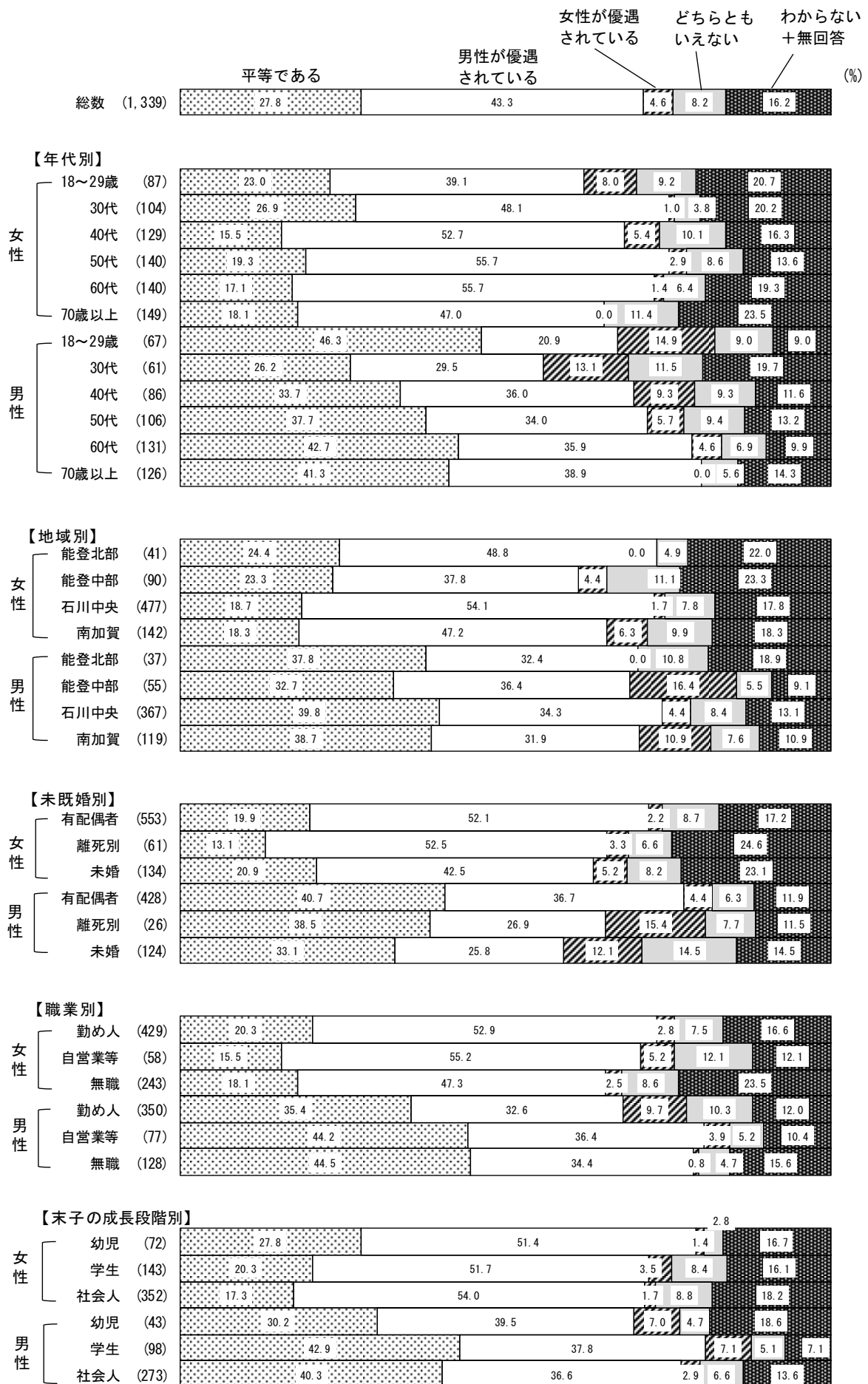
男性では、「平等である」は勤め人（35.4%）で最も少ない。『男性が優遇されている』はいずれの層においても3割台の数値となった。

【末子の成長段階別】

女性では、「平等である」は幼児がいる人（27.8%）で最も多く、『男性が優遇されている』はいずれの層でも半数を超え、社会人の子がいる人（54.0%）が最も多い。

男性では、「平等である」は学生の子がいる人（42.9%）で最も多く、『男性が優遇されている』はいずれの層においても3割台の数値となった。

図1-7 男女平等についての現在の状況 (f) 法律や制度の上では
(年代別、地域別、未既婚別、職業別、末子の成長段階別)



男女平等についての現在の状況

(g) 社会全体では

【年代別】

女性では、「平等である」が18～29歳（13.8%）で最も多い。『男性が優遇されている』は50代（76.4%）で最も多くなった。

男性では、「平等である」が18～29歳（20.9%）で最も多い。『男性が優遇されている』は70歳以上（69.8%）が最も多くなった。

【地域別】

女性では、「平等である」は能登中部（14.4%）で最も多く、『男性が優遇されている』は石川中央（73.6%）、能登北部（73.2%）で7割を超えた。

男性では、「平等である」が南加賀（17.6%）で最も多く、『男性が優遇されている』は能登北部（73.0%）で最も多くなった。

【未既婚別】

女性では、「平等である」は未婚（10.4%）で最も多い。『男性が優遇されている』は有配偶者（73.2%）と離死別（72.1%）で7割を超えている。

男性では、「平等である」は離死別（23.1%）で最も多い。『男性が優遇されている』は有配偶者（66.1%）で最も多くなった。

【職業別】

女性では、「平等である」は勤め人（7.9%）で最も多い。『男性が優遇されている』は勤め人（71.8%）、無職（70.8%）が7割を超えた。

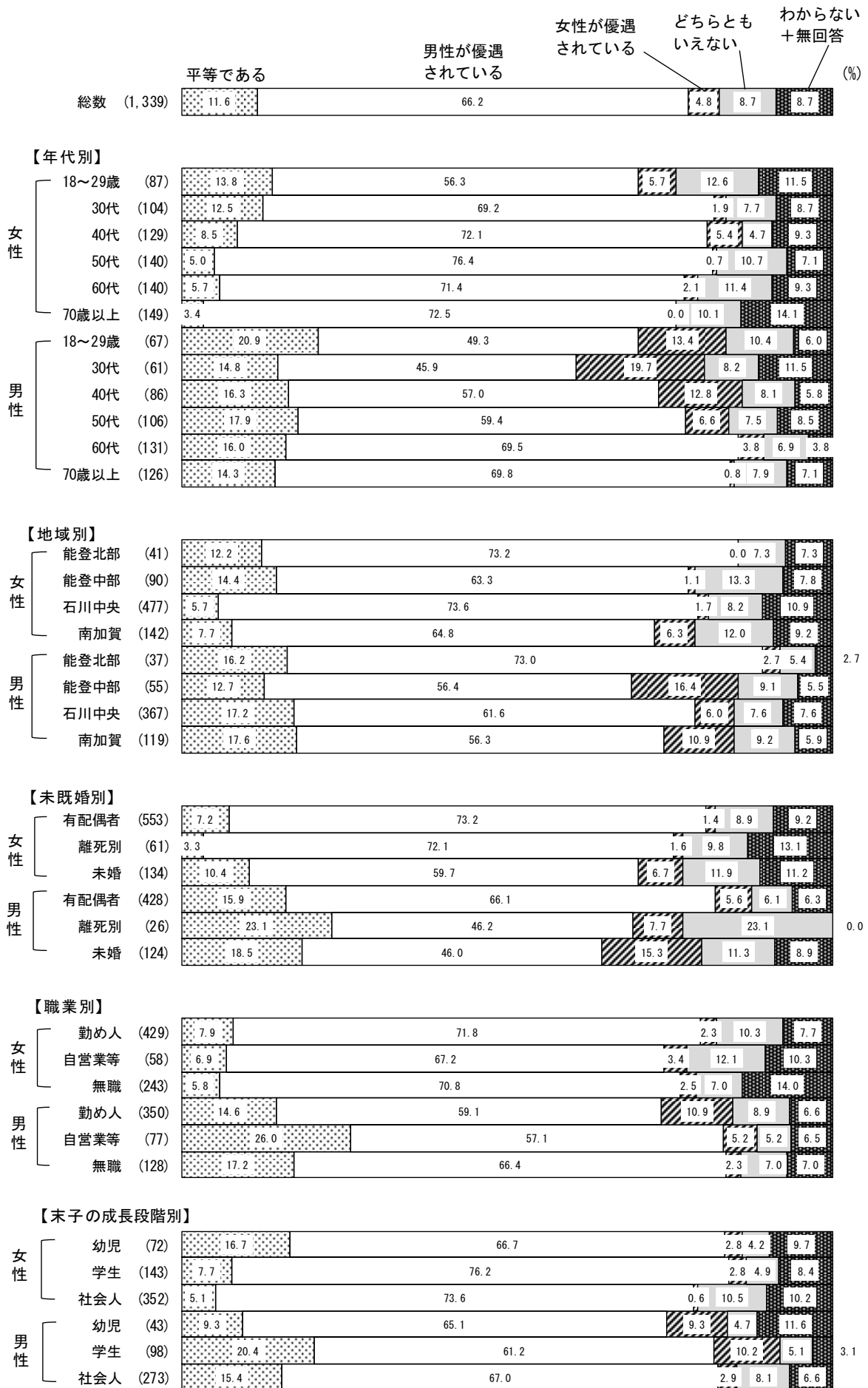
男性では、「平等である」は自営業等（26.0%）で最も多い。『男性が優遇されている』は無職（66.4%）が最も多かった。

【末子の成長段階別】

女性では、「平等である」は幼児がいる人（16.7%）で最も多くなっている。『男性が優遇されている』は学生の子がいる人（76.2%）、社会人の子がいる人（73.6%）で7割を超えた。

男性では、「平等である」は学生の子がいる人（20.4%）で最も多く、『男性が優遇されている』は社会人の子がいる人（67.0%）で最も多くなった。

図1-8 男女平等についての現在の状況 (g) 社会全体では
(年代別、地域別、未既婚別、職業別、末子の成長段階別)

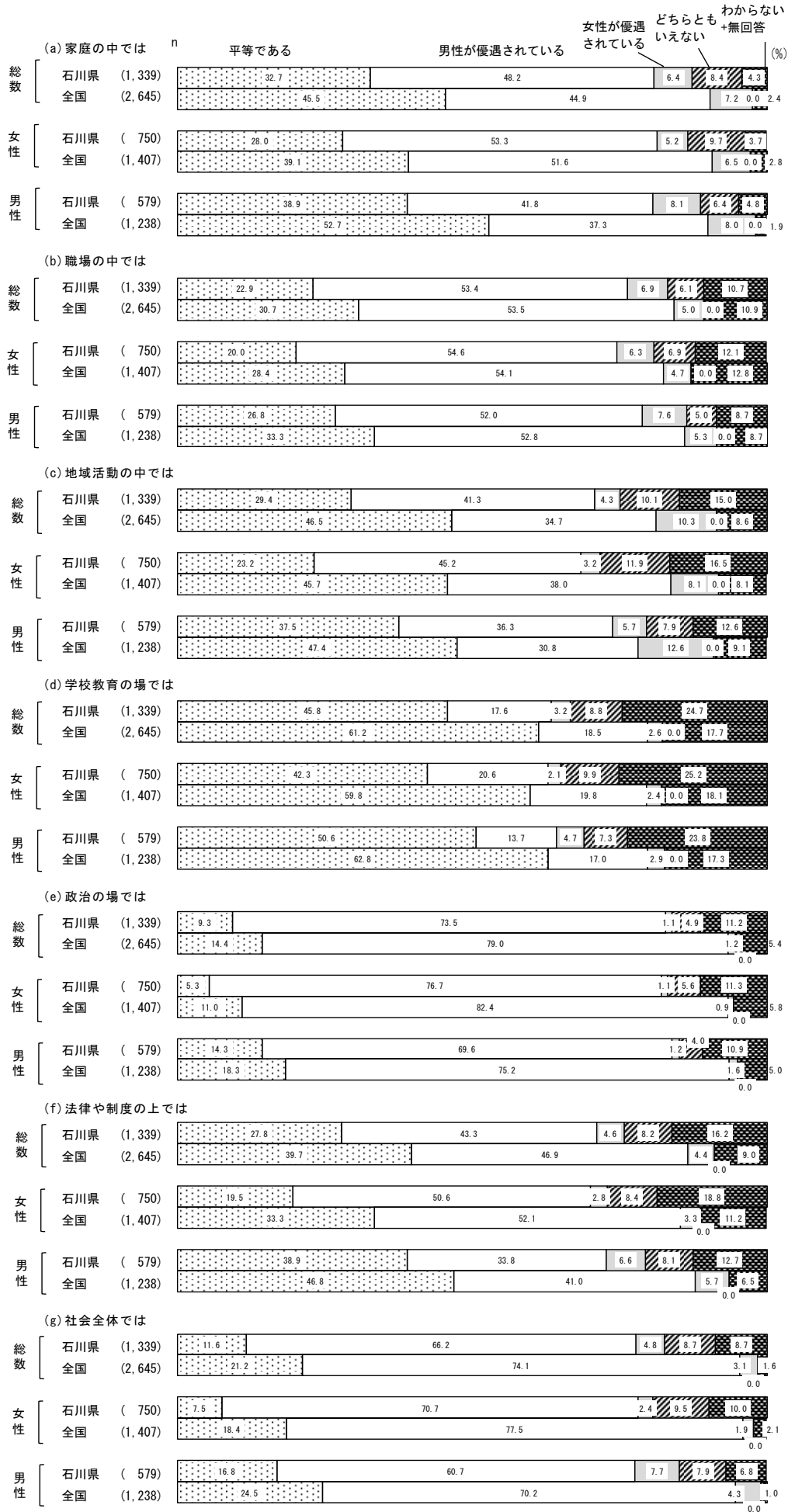


【令和元年度内閣府調査との比較】

内閣府が令和元年9月に実施した「男女共同参画社会に関する世論調査」の結果と傾向を比較する。(但し、内閣府調査は「調査員による個別面接聴取法」で実施していることや、質問文が異なること、設問項目で一致しないものがあること、回答選択肢が「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」「平等」「わからない」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が非常に優遇されている」の6つであること等から厳密な比較はできない。)

全ての項目で「平等である」が総数、女性、男性ともに全国の方が比率が高い傾向にある。

図1-9 男女の地位の平等（令和元年度内閣府調査との比較）



【平成27年度調査との比較】

全体で、“(a) 家庭の中では”、“(b) 職場の中では”、“(c) 地域活動の中では”の3項目で前回調査より「平等である」が増加している。他の項目では減少している。特に“(g) 社会全体では”では、前回調査に引き続き、「平等である」と感じている割合は男性の方が多く、今回の調査でも1.4ポイント増加した。一方で、「平等である」と感じる女性の割合は今回調査では1.4ポイント減少した。

図1-10 男女の地位の平等（平成27年度調査との比較）

